



中心市街地の 活性化・にぎわい創出のための まちづくり

(仮称) 五條市市民交流施設の整備について

令和8年6月1日

市長公室
企画政策課

(目次)

1. 事業の進捗状況について 3

2. 施設の平面プランの修正点について ... 4

3. 施設の使い方の一例について 6

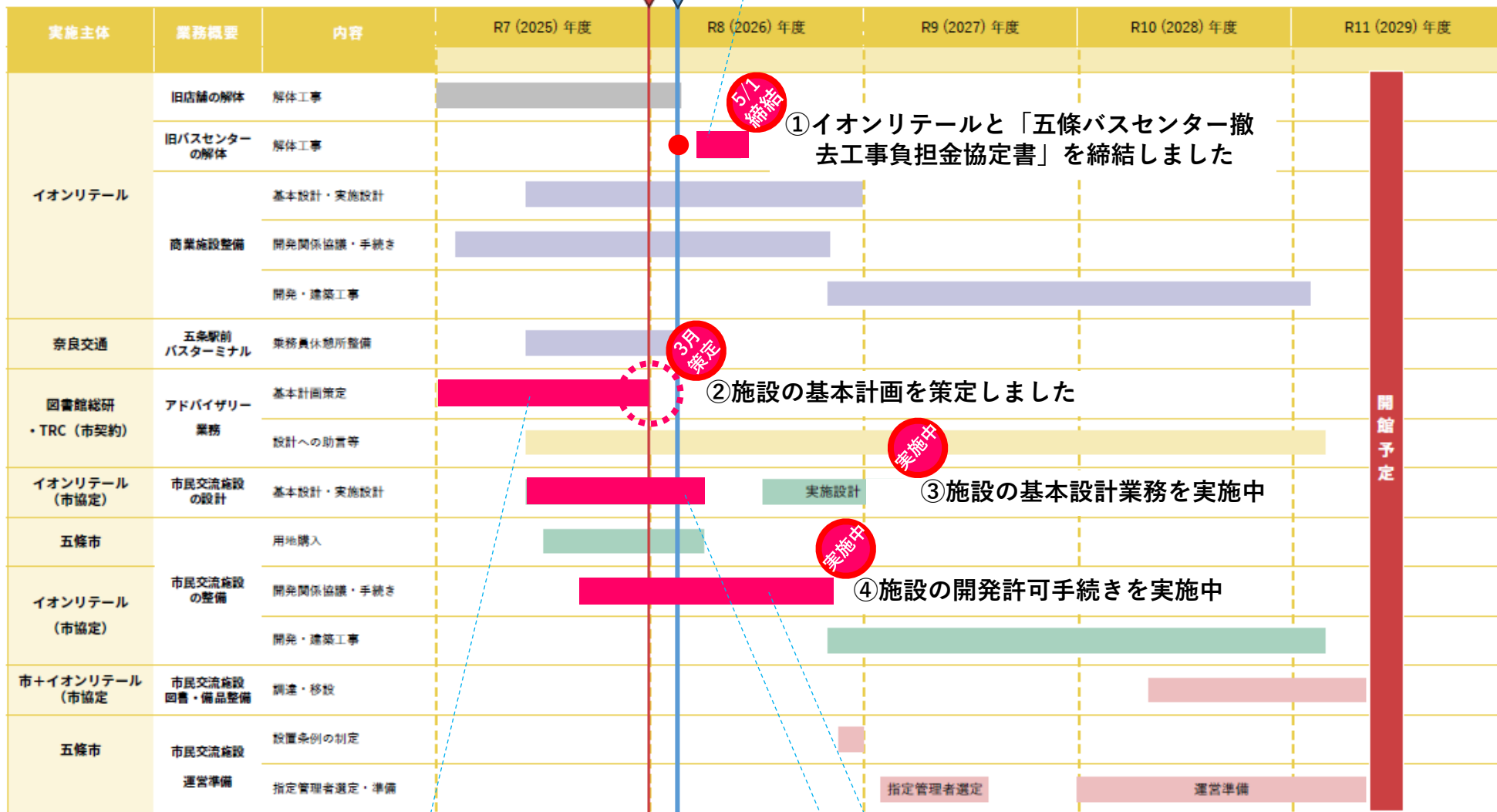
その他 施設の3Dモデルについて

1. 事業の進捗状況について

現在、スケジュールどおりに進んでいます。直近の取り組みを報告します。

令和7年度末
現在

①工事の公民連携（PPP）手法を定めた協定書を締結しました。
・五條バスセンターの解体撤去工事を、イオンリテールが民間のコスト感とスピード感で効率的に実施。
・市はイオンリテールに解体の必要経費（20,900千円）を支払います。



5/1 締結

①イオンリテールと「五條バスセンター撤去工事負担金協定書」を締結しました

3月 策定

②施設の基本計画を策定しました

実施中

③施設の基本設計業務を実施中

実施中

④施設の開発許可手続きを実施中

開館予定

②施設全体の平面プラン（コンセプト、規模、機能、配置、スケジュールなど）を定めた「基本計画」を策定しました。（ホームページ参照／後ページで説明）



③・④引き続き設計業務及び開発許可手続きを進めています。
◎イオンリテールとの公民連携手法により効率的に事業を実施。
市はイオンリテールに設計等の必要経費を支払います。

2. 施設の平面プランの修正点について

ワークショップなどで市民の皆さんから出た意見を反映し、平面プランを一部修正して基本計画を策定しました。この平面プランに基づいて実施設計を行います。

: 修正箇所

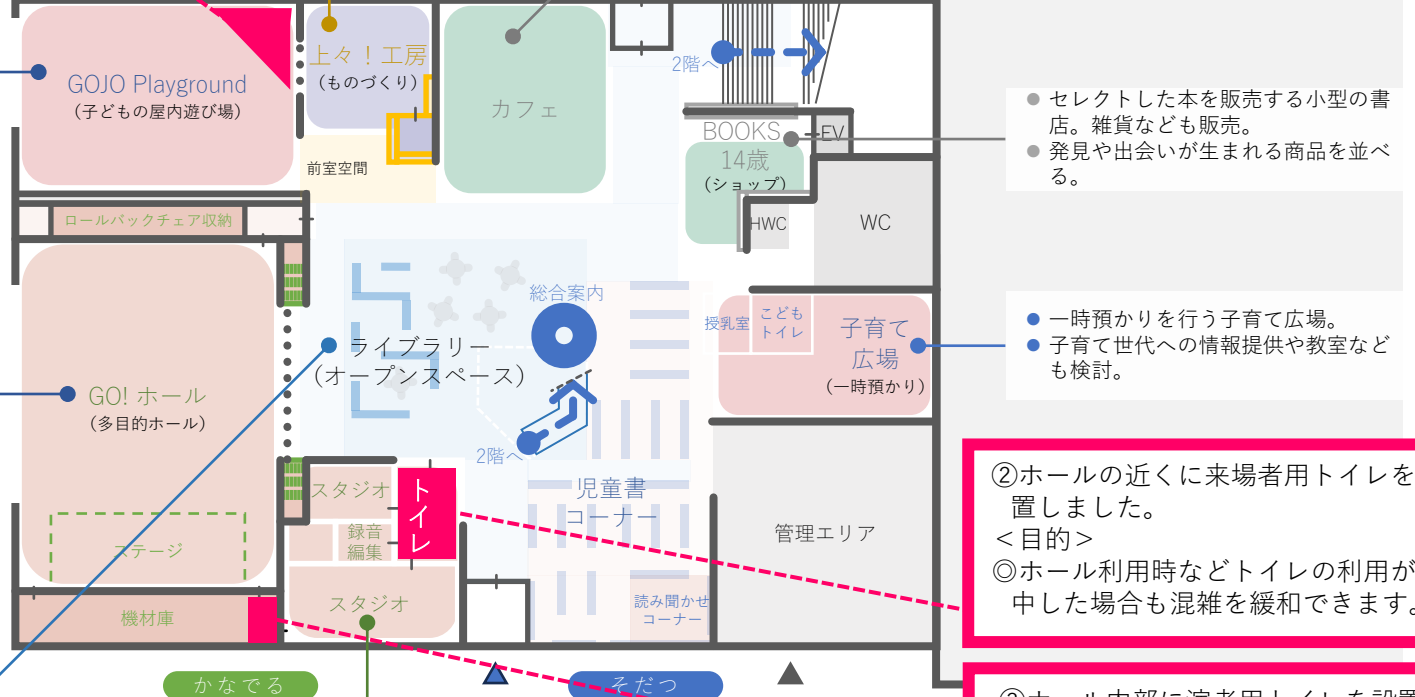
- ①子どもの遊び場に、保護者の見守りスペースを設置します。
<目的>
- ◎子育て世代が集まって情報交換や交流が生まれます。
- ◎子どもを遊ばせながら、カフェで買った飲み物を楽しむことができます。

公共複合施設 ↔ 商業施設



- 天候に関わらず子どもたちが体を動かして自由に遊べる施設。
- 子育て世代も訪れやすい環境づくり。

(1階)



- 発表や鑑賞の場だけではなく、出会いや文化が生まれる場を目指す。
- マルシェや物産展など、多くの人でにぎわう多目的でオープンな場所に。
- 図書館の知識が活動につながるように、日常は図書館のオープンスペースとして活用。
- 音響、照明、遮音性能を確保してイベント利用に対応。

- 全体的に屋内広場のような設えとし、人々が思い思いの時間を過ごせる場所とすることで、開放感とシームレス感を実現し、自然に本を手に取りたくなる空間にしています。

- 3Dプリンターなどのデジタル機器やアナログ工具等を備えたものづくりの場
- 子どもも、大人も、自由に好奇心や興味を形にできる工房

- 読書もできるカフェエリア
- にぎわいが生まれるコミュニティの場、市民の憩いの場

- セレクトした本を販売する小型の書店。雑貨なども販売。
- 発見や出会いが生まれる商品を並べる。

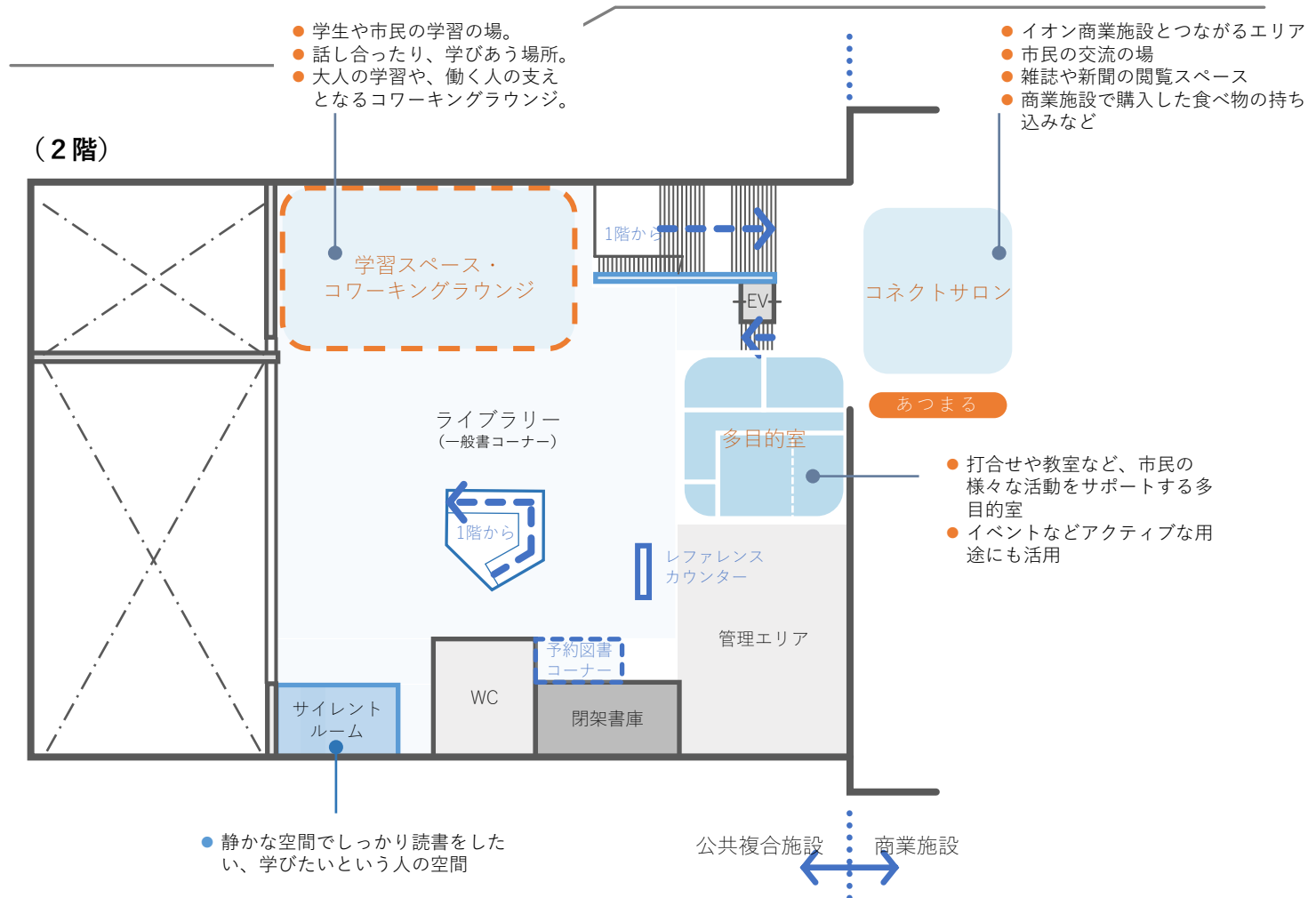
- 一時預かりを行う子育て広場。
- 子育て世代への情報提供や教室なども検討。

- ②ホールの近くに来場者用トイレを設置しました。
<目的>
- ◎ホール利用時などトイレの利用が集中した場合も混雑を緩和できます。

- ③ホール内部に演者用トイレを設置しました。
<目的>
- ◎ホールで発表する人が使い勝手の良い設備を考えました。

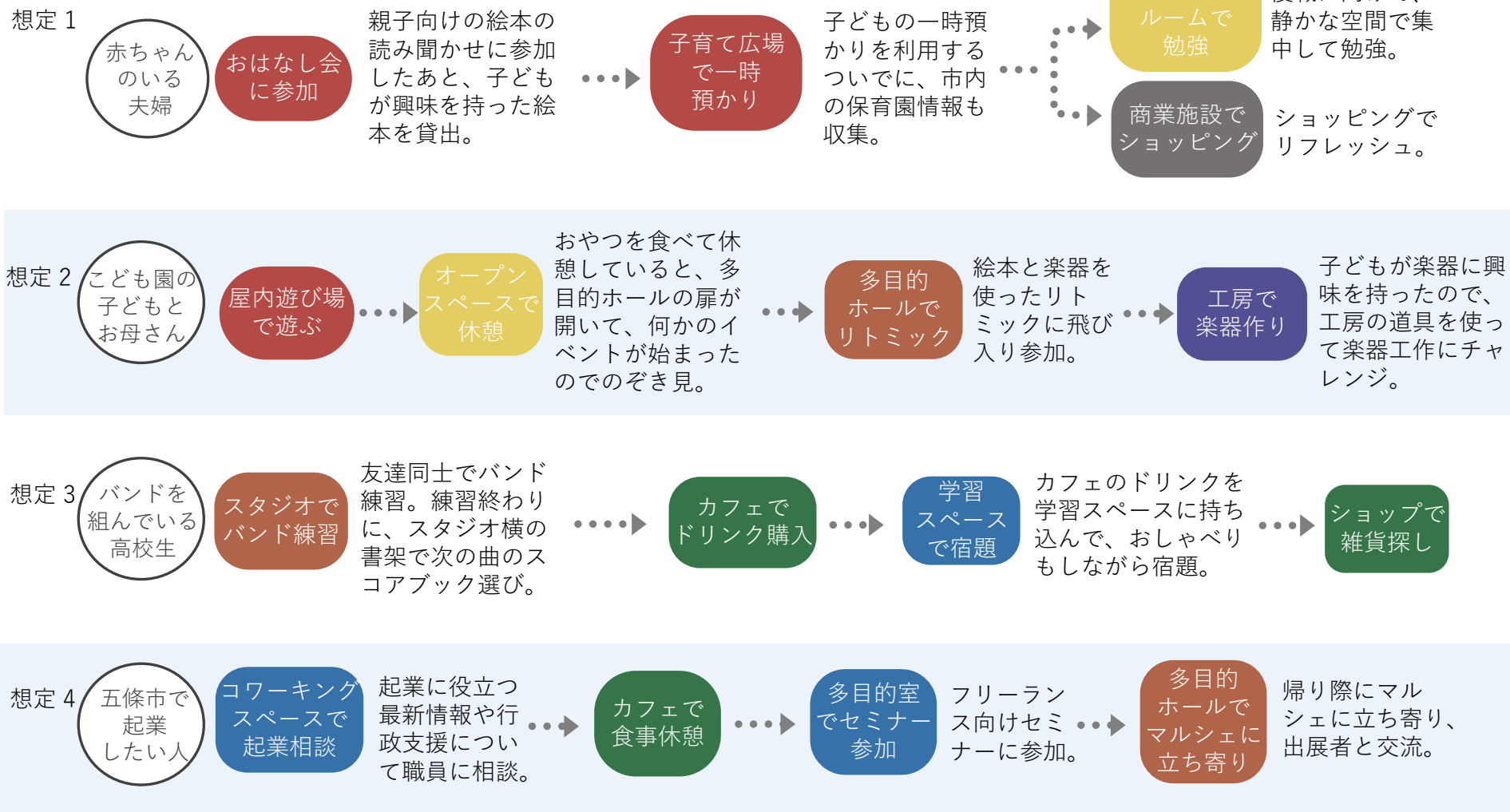
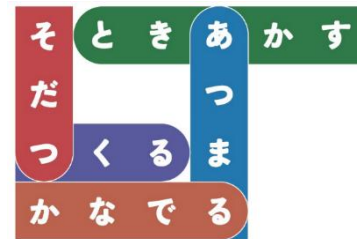
- バンドの練習や楽器演奏ができる音楽スタジオ。
- ドラムやアンプなどの機材は標準で設置。

2. 施設の平面プラン（2階部分は修正ありません）

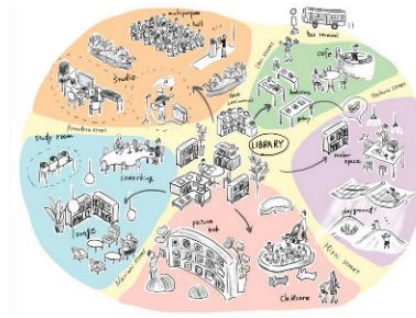


3. 施設の使い方の一例（前編）

様々な機能が融合する（仮称）市民交流施設では、様々な利用者が思いの過ごし方ができることに加えて、思いがけない人・モノ・イベントとの出会いも生まれます。



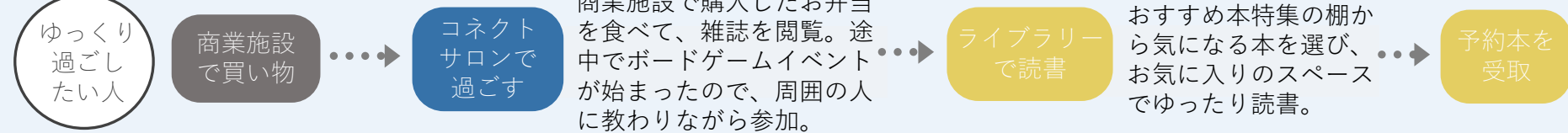
3. 施設の使い方の一例（後編）



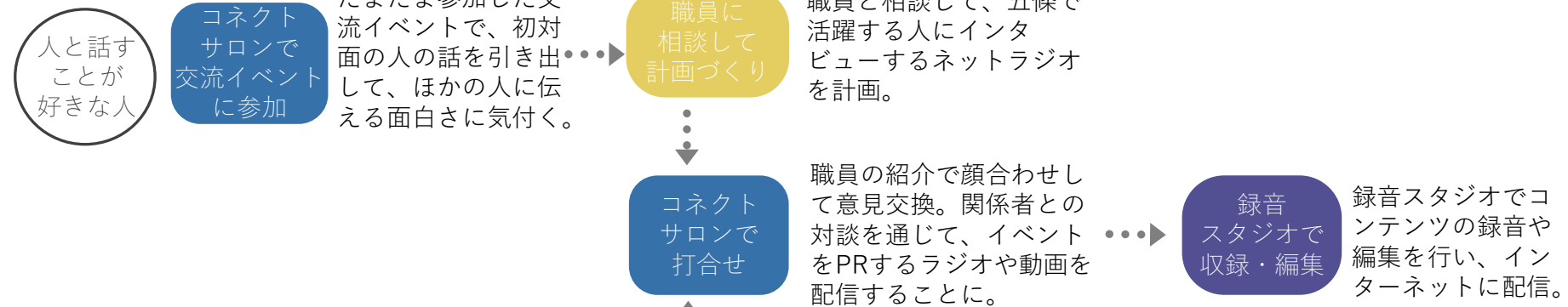
想定 5



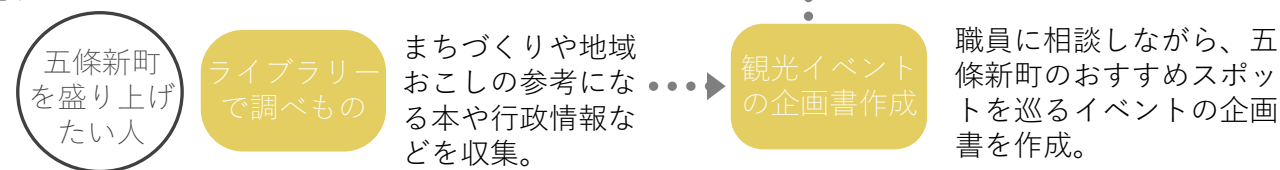
想定 6



想定 7



想定 8



<参考> これまでの取り組みと議会報告内容等

令和3年9月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●有識者会議の設置等について補正予算を上程。 ●市民会館等の老朽施設の集約化や規模の見直しについて検討を開始する旨報告。
令和3年10月	●五條市新庁舎整備委員会（委員長：池上俊郎/京都市立芸術大学 名誉教授）から庁舎跡地活用に関する答申が提出される。
令和4年度～	●有識者による五條市庁舎跡地等活用検討委員会（委員長：中山徹/奈良女子大学教授）を立ち上げ今後の方針の検討を開始。
令和4年6月 市議会定例会	●五條市庁舎跡地等活用検討委員会での検討状況について報告。
令和4年8月～	●イオンリテール、奈良交通の依頼を受け、まちづくり検討会に参加、協議を開始。（後に南都銀行も参加）
令和4年12月 市議会定例会	●五條市庁舎跡地等活用検討委員会の検討状況、他市の先進施設の視察内容を報告。
令和4年12月	●イオンリテール、奈良交通、南都銀行、五條市が「五條市まちづくりに関する基本合意書」調印。
令和5年1月～	●イオン五條店への公共施設導入について有識者、市内団体、高校生等へのヒアリングを実施。（自治連合会長、観光協会長、地区婦人会連絡協議会長、民生児童委員連合会長、商工会長、青年会議所理事長、PTA連合会長、五條高等学校生徒会、西吉野農業高校生徒会、市議会議長、五條高等学校長、奈良県立大学）
令和5年1月～	●イオン五條店敷地への公共機能の導入について、五條市庁舎跡地等活用検討委員会で検討を実施。
令和5年3月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●有識者、市内団体、高校生等へのヒアリングの結果について報告。 ●イオン五條店敷地に商業施設と併設して公共機能を導入。市の活性化、にぎわいの創出を目的に事業を進めることについて報告。
令和5年4月 市議会臨時議会	<ul style="list-style-type: none"> ●検討状況の報告 ●基本コンセプト「訪れる人がわくわくするまちづくり」を報告
令和5年度中	●市民の意見を聞き取るため公募型ワークショップを11回開催し、のべ162人が参加。
令和5年12月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●検討状況の報告 ●ワークショップの経過を報告。
令和6年2月～3月	●「中心市街地の活性化・にぎわい創出のためのまちづくりプロジェクト」についてパブリックコメントを実施。
令和6年4月	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリックコメントの結果「中心市街地の活性化・にぎわい創出のためのまちづくりプロジェクト」決定。 ・事業実施場所 現在のイオン五條店のエリア ・導入する機能 図書館、子どもの遊び場、ホール、子育て支援、広場、共用部分、民間商業施設、バスターミナル
令和6年9月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●市民交流施設の整備スケジュール、オープン目標時期、イオン五條店の一時休業について報告 ●先進類似施設について報告（高梁市立図書館、海南nobinos）
令和7年3月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●市民交流施設整備スケジュールについて報告 ●アドバイザー業務の目的、イオンリテールによる設計・施工の手法、事業用地の取得方針について報告
令和7年4月広報	●事業の目的や内容、事業のスケジュールなどを広報五條に掲載
令和7年6月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●市民交流施設整備スケジュールと進捗について報告 ●JR五條駅前でのバスターミナル機能の移転整備について報告
令和7年9月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設部分の延床面積（約3,700㎡）の決定、開発区域の拡大（約17,200㎡→約19,300㎡）について報告。 ●施設の開館時期について報告（令和11年初旬予定）。 ●奈良交通所有地の売買協議及びバスターミナルのJR五條駅前への移転について報告。 ●施設の機能別面積の内訳（図書館約2,300㎡、子育て支援約500㎡、多目的ホール約600㎡、子どもの遊び場約300㎡）を報告。
令和7年12月 市議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> ●用地購入費の補正予算（土地建物購入費及び保証金等310,374千円議決）。 ●事業用地内の建物及び駐車場の配置、建物イメージやデザインコンセプトについて報告。 ●施設の平面プランについて報告。
令和8年1月広報	●施設の外観イメージ及び平面プランの公表及び報告会・ワークショップの案内を掲載。
令和8年1月特別委員会	●施設の駐車場の配置案、多目的ホールの考え方、外観イメージ、階層について報告。
令和8年2月	●「高校生ワークショップ（R7/12）」および「市民向け事業報告会&使い方ワークショップ（R8/2）」を開催。141人が参加。
令和8年3月 市議会定例会	ワークショップ（R7/12、R8/3）の結果について報告。令和8年度予算（五條バスセンター解体工事等）や事業手法について報告。